

ドライブレコーダー 取付手順 ご参考資料

～アクセサリーソケット（シガーライターソケット）から電源供給する場合～



対象機種：DRV-830、DRV-W650、DRV-650、DRV-630、DRV-W630、
DRV-340、DRV-240、DRV-325、DRV-320、DRV-230

本書の取付手順はご参考例です。

- ドライブレコーダーを取り付ける際は、**実際のお車の形状や法令に合わせ**、ドライブレコーダーに付属している取扱説明書に従ってください。
- 取付作業時は、安全な場所で安全な状態で作業を行ってください。
- 車内外で作業を行うため体調に配慮してください。
- お車にサイドエアバッグや運転支援システムが搭載されている場合、取り付け位置や配線方法に制限があります。詳しくはお車をお求めになられたディーラー様などの専門技術者にご相談ください。
- CA-DR150/CA-DR100 の電源ケーブルを使用して接続する場合は取扱説明書をご確認いただき販売店とご相談のうえ作業を行ってください。
- 誤った取付や配線をすると、自動車の安全装置に重大な支障をきたし、交通事故につながるおそれがあります。取扱説明書および本書をよくお読みになり、正しく取付けてください。取り付けに不安のある場合は、車をお求めになった販売店にご相談することをお勧めします。
- 本書は改良等により改訂する場合があります。当社 Web サイトのサポートから最新版をご参照ください。

【もくじ】

- 用意するもの：2 ページ
- 取付手順 : 3 ページ
- 実際の取付 : 4~10 ページ

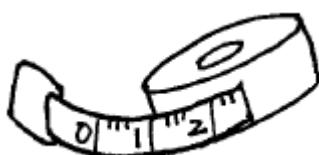
用意するもの

製品に含まれるもの

- ドライブレコーダー本体
- シガープラグコード（約 3.5m）
- 取付ブラケット（プラスチック製の取付台座）
- メモリーカード（ドライブレコーダーに挿入します）
- カードアダプター（メモリーカードに記録された映像をパソコンで見る場合に使います）
- 取扱説明書
- 挿入紙（フォーマットの方法、加工配線の禁止）

ご用意いただくもの

- メジャー（1.5m 程度の巻尺。窓ガラスの長さを測定します）

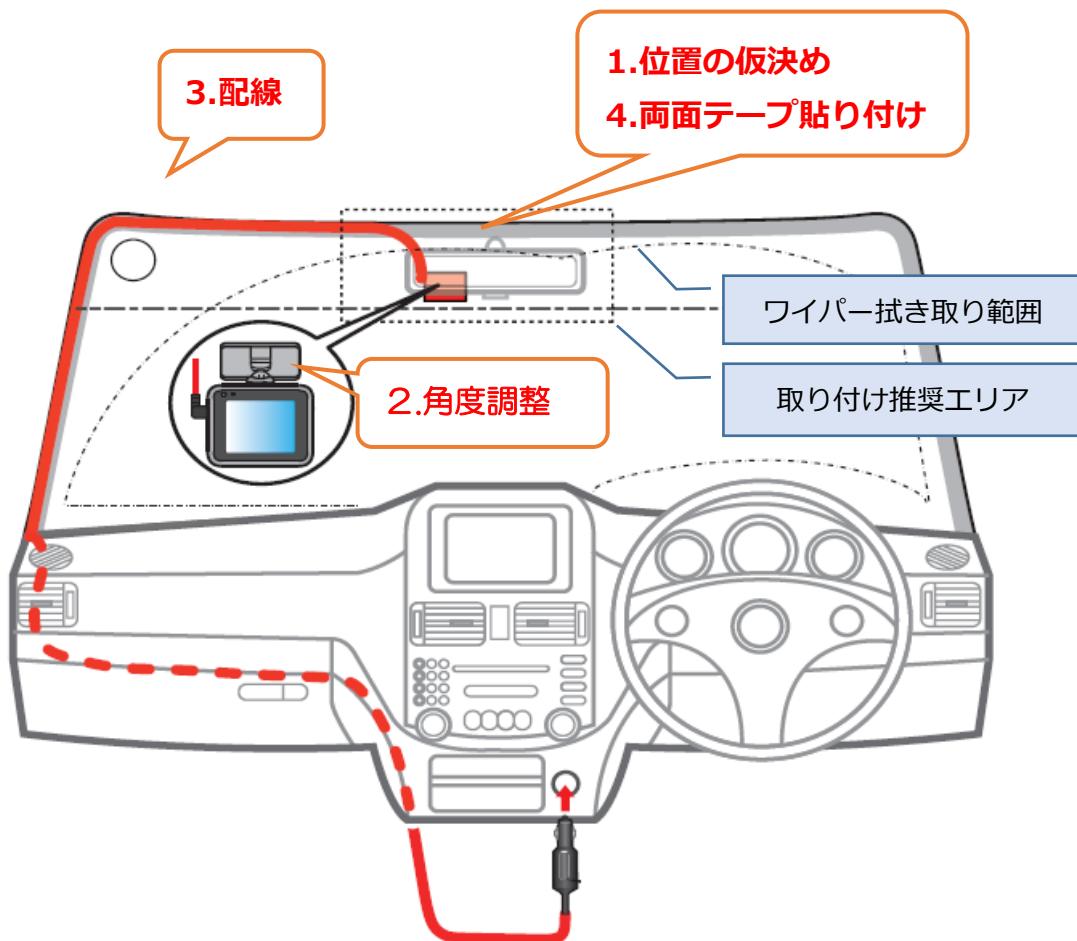


- 仮固定用のテープ（養生テープやマスキングテープなど）
- ガラスクリーナー（取付ブラケット貼付部分のガラス清掃用）
- 結束バンド（余った電源配線をまとめる）
- 自動車用の配線止め（両面テープ付きコードクリップ）
A ピラー（助手席前の車の天井を支える柱）部分へ配線を固定します。両面テープ付きのコードクリップはカー用品店等でお求めいただけます。



- スポンジテープ（厚さ 1~1.5mm。天井から電源配線が飛び出す場合に使います。）

取付手順



1. 取付位置仮決め (取付ブラケットを仮固定する)
2. 角度調整 (電源を入れて取付ブラケットの角度を調整する)
3. 配線 (コードを車に装着する)
4. 両面テープ貼り付け (取付ブラケットをガラスに固定する)



【ご注意】 取付ブラケットの画面テープは非常に強力なため、一度貼り付けてしまうと容易に貼り直しが出来ません。また貼り直しにより粘着力が低下し、走行中脱落の恐れがありますので、取付位置は十分に検討した後に貼り付けてください。

実際の取付

1. 取付位置仮決め (取付ブラケットを仮固定する)

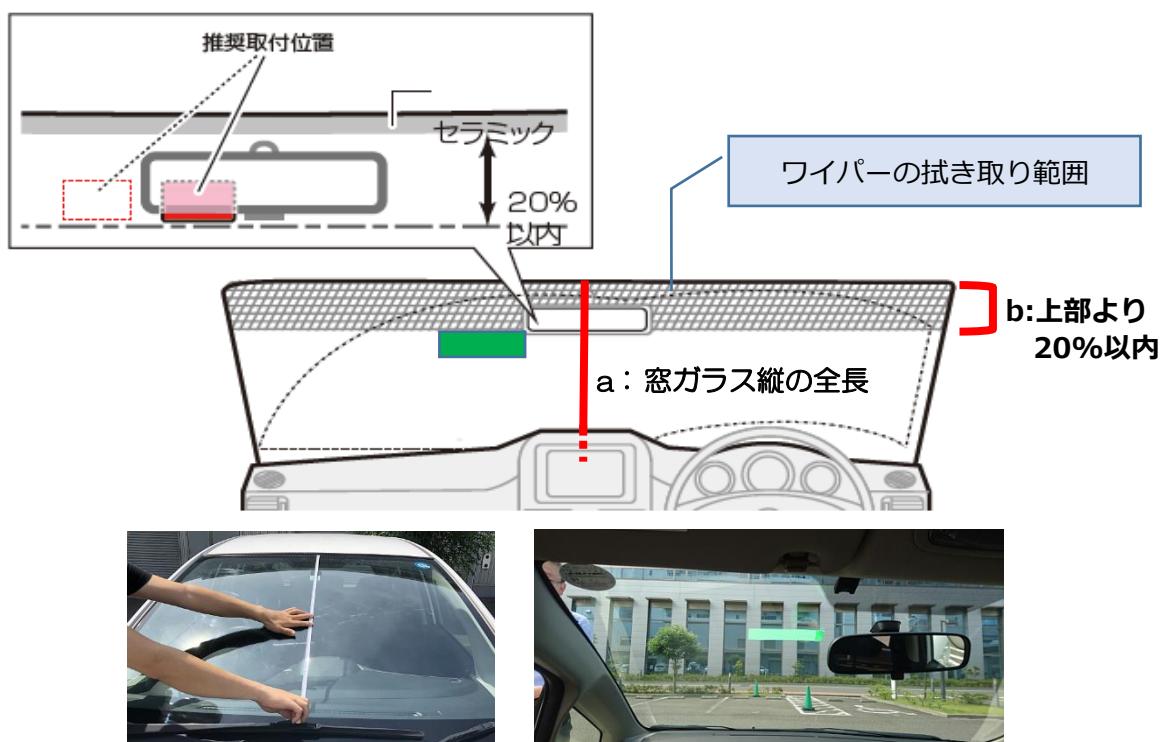
仮取付、仮接続する前に、車を水平で安全な場所に移動します。(仮取付した状態では走行しないでください。)

1-1. 位置決め

フロントガラスの上からドライブレコーダー本体を含めて 20%以内(*1)で、運転者の前方視界を妨げない位置に取付けます。

推奨取付位置：助手席のルームミラー周辺（雨天を想定しワイパーを動かして拭える位置）をおすすめしています。

*1：法令（道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条）に基づく細則により定められており、継続検査（車検）に適合しないため。また視界不良による事故を防止するため。



【ご参考】メジャーで車の窓ガラスの長さを測り、取付の下限に印（テープ）をつけます。

a : 窓ガラス中央の窓ガラスの縦の長さ : _____ cm (図 1 の点線部分)

b : 上から 20%の位置 : _____ x 0.2 = _____ cm

1-2. 取付ブラケットの仮固定

おおよその取付の位置を決めたら下記写真の様にテープで取付ブラケットの両端を仮固定します。

【ご注意】まだ取付ブラケットの裏紙は剥がさないでください。

取付位置が決まってから貼り付けてください。)



1-3.

2. 角度調整 (電源を入れて取付ブラケットの角度を調整する)

2-1. 電源配線を仮付け

ドライブレコーダーに電源コードを接続し、車のアクセサリーソケット(シガーソケット)に挿しこみます。



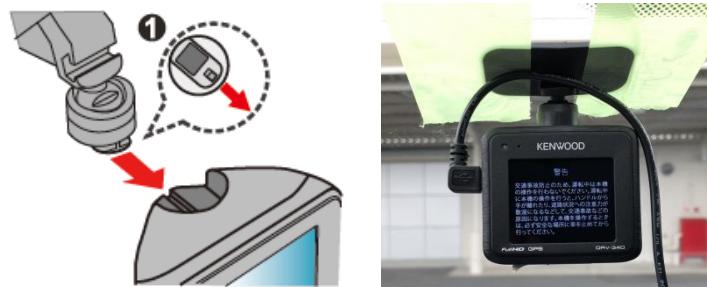
2-2. カメラの保護シートを外す

カメラのレンズには直接手で触らないでください。



2-3. 動作確認

ドライブレコーダー本体を取り付けブラケットに装着し、車のキー（スイッチ）を操作しエンジンを掛けて、ドライブレコーダーの画面に映像が出ることを確認します。



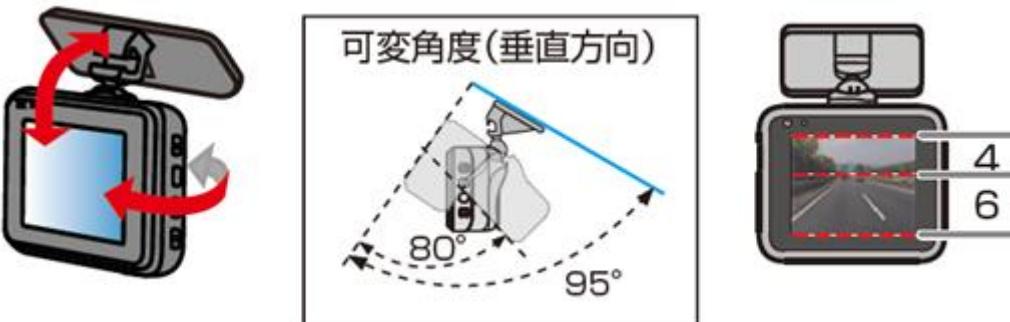
2-4. 角度調整

液晶画面の映像を確認しながら、水平な地上と平行になるように、地上と空の比率（*2）を目安に取付
ブラケットの角度を調整してください。

*2：地上と空の比率（詳細は取扱説明書を参照してください。）

地上 6 : 空 4 … 対応機種：GC-DR3/GC-TD2

地上 5 : 空 5 … 対応機種：GC-DR1



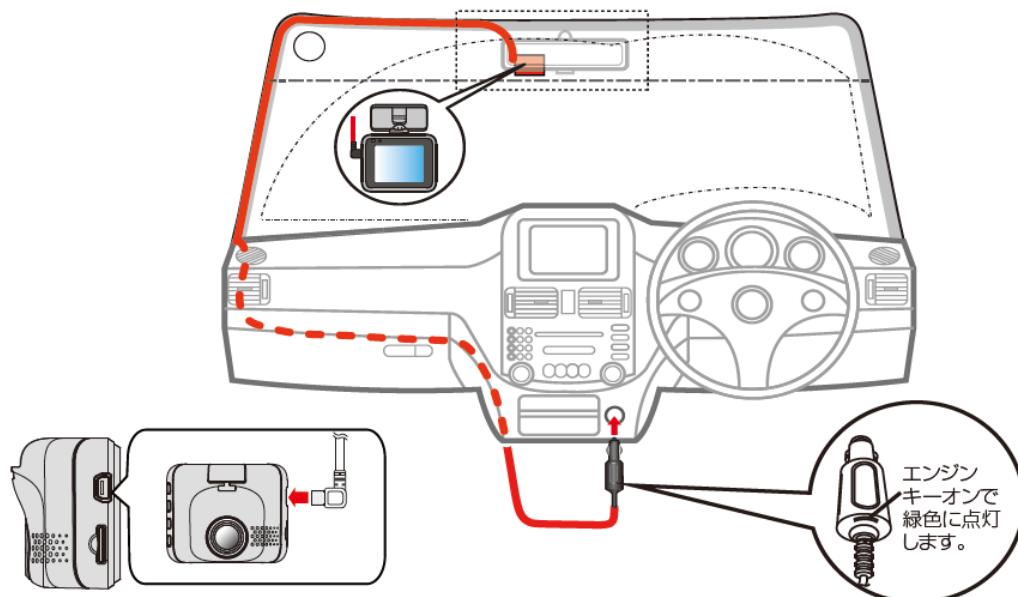
ブラケットの動かし方

取付ブラケットを左手で押さえたまま右手でドライブレコーダーを掴み、少し力を入れながらゆっくりと動かしてください。（取付ブラケットは車の振動や衝撃で容易に動かないよう硬くなっています。）

※：ブラケットのみでは動かすことが出来ません。必ずカメラを装着して動かして下さい。

3. 配線（コードを車に装着する）

3-1. 電源配線を行います。赤線を参考に配線を行います



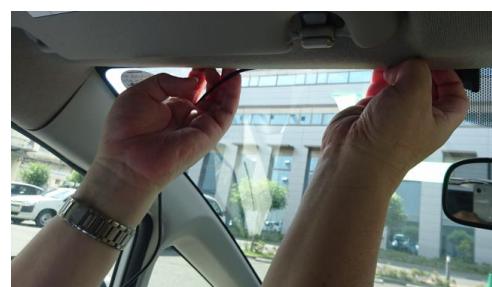
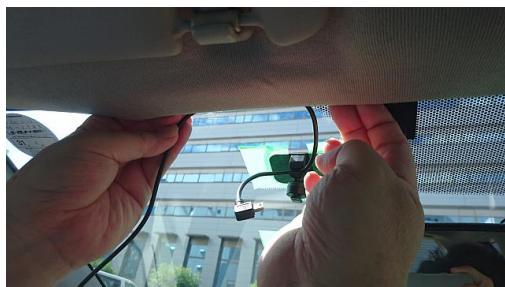
※ 上図、赤い点線部分のコード処理は、グローブボックス（小物入れ）の奥に配線していますが、
この後の説明では、助手席のカーペット奥にケーブルを隠しています。

3-2. 下記写真の様に取付ブラケットに電源コードを通して 5cm ほど出しておきます



3-3. 天井部分の内張り部分（ルーフライニング内）に電源コードを押し込んで隠します

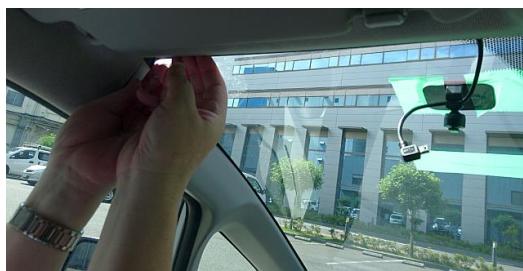
※ コードがルーフライニングから落ちて来る場合は、コードの途中に市販のスポンジテープ（厚み 1~1.5mm）などを巻いてコードを部分的に太くしてコードが落ちてこないようにします。



ルーフライニングは一部の車を除き、手で配線を押し込むことができます。

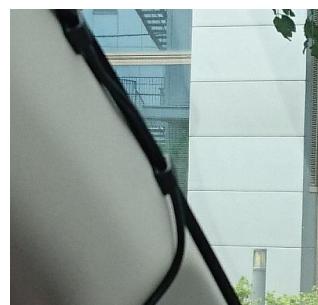


取付ブラケットの上からピラー（助手席の柱）まで配線を内張りの中に隠します。



3-4. ピラー（助手席の柱）内に配線が入らない場合は、市販の配線止め（両面テープ付きのコードクリップ）でコードを固定します

（コードクリップはガラス面に貼り付けをせず、ピラーに貼り付けてください。）



※ご注意：サイドエアバッグ装備車など、ピラー内にエアバッグが装備されている場合、配線方法によってはエアバッグが正しく動作しない恐れがありますので、お車をお求めになられたディーラー様にご相談ください。



配線の一例

3-5. ドアを開閉しても電源コードが挟み込まれないよう配線止め等で固定します

（助手席エアバッグが動作する範囲に配線をしないでください）



3-6. 助手席カーペットの下（奥）に余分なコードを隠し、アクセサリーソケット（シガーソケット）まで配線します

（ご注意：前後に可動する助手席のレール部分等に電源コードが挟まれないよう注意して配線してください。）



余った配線は結束バンド等で軽くまとめてください。



4. 両面テープ貼り付け

4-1. 取付位置が下記の注意点を満たすか確認します。

- フロントガラス上部からガラス全体の 20%以内におさまっていますか？
- ワイパーを動かして拭き取り位置に入っていますか？
- ルームミラーとサンバイザー操作の妨げになりませんか？
- 車検シールに重ならない位置ですか？
- 運転支援システムや他の車両装備の妨げになりませんか？
- テレビアンテナや他の電装品から離れていますか？

4-2. 窓ガラスの外側に仮取付したブラケットの位置をマーキングします。

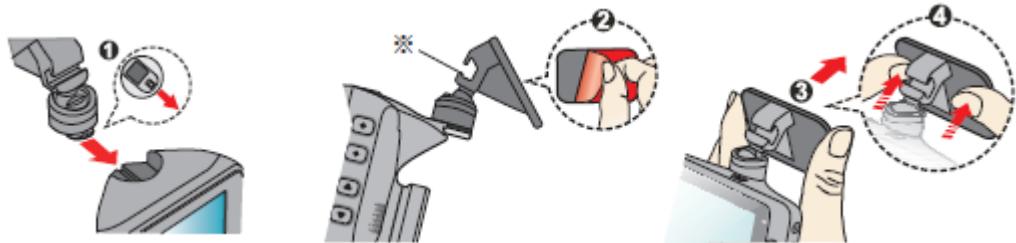
仮付けした取付ブラケットを外す前に、窓ガラスの外側に、ブラケット貼り付け位置を養生テープでマーキングしてください。

4-3. 貼り付けるガラス面を清掃する

仮付けしたブラケットを外し、窓ガラス部分の汚れ・油分をクリーナー清掃してください。



4-4. 取付ブラケットを貼り付けます



- ① 取付ブラケットにドライブレコーダー本体を差し込む。
- ② 取付ブラケットの両面テープの裏紙をはがす。
- ③ ご自身で決めた位置に取付ブラケットを貼り付ける。
- ④ 台座部分をガラス面に押し付ける。
- ⑤ ケーブルを接続する。

実際の取付例



4-5. 窓ガラスの外側に貼った養生テープ等をはがします

以上で取付終了です。

以下、取扱説明書に従って各種設定を行ってください。



DRV-830

取扱説明書 PDF



DRV-W650/650

取扱説明書 PDF



DRV-W630/630

取扱説明書 PDF



DRV-340

取扱説明書 PDF



DRV-240

取扱説明書 PDF



DRV-325/320

取扱説明書 PDF



DRV-230

取扱説明書 PDF